

2020年 春号
としょかんだより

TSUBAME
LIBRARY

燕市立図書館

VOL. 16

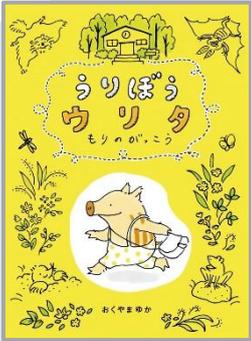
灰色の冬が終わる3月、桜がキレイな
ピンク色の花を咲かせます。



『さくらがさくと』

とうごう なりさ//さく、福音館書店
E/T (低学年向け)

くいしんぼうであわてんぼのウリタ。
春から通い始めた学校では、
毎日たのしいことがいっぱい！



『うりぼうウリタ』

—もりのがっこう—

おくやま ゆか//作、偕成社
K 913/才 (低学年向け)

あ、春だ！何を読もうかな？

私たちの生活には多くのエンジニアが関わっています。
電気や飛行機など歴史を変えるほどの発見の他に、自分
で試せる実験もたくさん紹介されています。



『エンジニアになろう!』

—つくってわかるテクノロジーのしくみ—

見たい、知りたい、ためしたい—

キャロル・ボーダマン//監修
後藤 真理子//訳、化学同人
K 500/E (高学年向け)

新しく入った
おススメの本

トウトウルはじゃがいもという意味の名前の女の子。
村の外れに住む不気味な藍はあさんは子ども
を食べるといいうワサです。本当なのでしょうか？



『精霊のなみだ』

トウトウルとふしぎな友だち—
湯湯//作、高野 素子//訳
平澤 朋子//絵、あかね書房
K 923/才 (中学年向け)



『みならいうさぎのイースターエッグ』

エイドリアン・アダムズ//作・絵
三原 泉//訳
徳間書店、E/A (中学年向け)

お父さん
お母さんにも
おすすめ◎

『100年の旅』

ハイケ・フォーラ//文、ヴァレリオ・ヴィダリ//イラスト、
前田 まゆみ//訳、かんき出版、726/才

1ページで1歳ずつ年をとる、絵日記のような本です。
人生100年時代の現在ですが、生きることは大変なことばかりではなく、シンプルな喜びに満ちています。

イースターエッグはうさぎが運んでくると言われています。うさぎのアポット一家はエッグのよう
に絵を描いた車で旅行に出かけると...

盲導犬は目の、聴導犬は耳の不自由な人を助けてくれます。そんな「補助犬」の仕事を紹介してくれる1冊です。



『はたらく犬たち』

—盲導犬・聴導犬・セラビードッグほか—
公益財団法人 日本盲導犬協会、
公益社団法人 日本聴導犬推進協会、
社会福祉法人 日本介助犬協会、
公益社団法人 日本動物病院協会//監修
アルバ//編、金の星社、K 645/ハ (高学年向け)

裏面は図書館の使い方とイベントのご案内！